

北海道函館中部高等学校  
創立120周年記念事業協賛会  
設立総会



第1回卒業生 明治32年3月30日

- 1 日時：平成26年度 2月14日（金）19時
- 2 場所：北海道函館中部高等学校 会議室

○白楊ヶ丘同窓会

・役員

会 長 石 井 直 樹  
副 会 長 五十嵐 稔 (楊燈会会長) 鎌 田 佳 勝  
          佐々木 園 子 佐 藤 眞紀夫  
幹 事 長 菊 池 有 人  
副幹事長 田 中 聰一郎 野 口 壽 子 福 西 秀 和  
          室 田 晴 康 千 葉 孝 仁  
監 査 奥 山 昌 弘

・各期代表幹事

43 葛 西 善一朗 44 加 藤 正 之 46 福 島 和 夫  
51 納 代 正 信 51 菱 川 照 男 52 柴 田 禮  
57 福 田 肇 57 佐々木 浩 子 58 久 保 孝 夫  
58 佐 藤 和 子 59 佐々木 堅 治 59 山 村 俊 一  
60 森 元 治 62 石 橋 輝 夫 63 片 岡 嗣 秀  
64 安 達 彰五郎 65 冬 野 赴 史 67 森 元 浩  
69 松 本 仁 69 富 永 二 郎 70 千 賀 慎 一  
78 松 宮 健 治 81 加 島 敏 朗 83 高 清 水 恵  
90 見 付 宗 弥 90 原 一 彰 91 大 坂 昭 夫  
97 松 川 文 弥 ( ) ( )

○父母と教師の会役員

会 長 益井 基 濱岡 みゆき (定時制)  
副 会 長 吉田 道彦 小川原 康友 鈴木 直江 斉藤 亜紀  
          乗木 美奈子  
会 計 監 査 岸本 眞彦

○学 校

校 長 千 原 治  
教 頭 天 田 光 彦・谷 川 敬 一 (定時制)  
事 務 長 久米田 雅  
総務部長 松 田 治 人 教務部長 北 川 能 貴  
生徒指導部長 綾 如 永 生徒会部長 内 山 直 希  
進路指導部長 白 鳥 宏 之 保健部長 荻 津 賢  
図書情報部長 成 田 睦 生 1 学年主任 大 内 英 紀  
2 学年主任 武 藤 まり子 3 学年主任 中 村 徳 秀  
事 務 主 任 伊 藤 浩 介

次 第

司会 定時制教頭 谷川敬一

(1) 開会のことば

(2) 校長挨拶 北海道函館中部高等学校長 千 原 治

(3) 同窓会長挨拶 白楊ヶ丘同窓会長 石 井 直 樹

(4) P T A会長挨拶 父母と教師の会会長 全日制 益 井 基  
定時制 濱 岡 みゆき

(5) 近状報告 全日制教頭 天 田 光 彦

(6) 議長選出

・議 事

- ① 協賛会会則について
- ② 協賛会役員と事務局編成について
- ③ 事業計画について
- ④ 予算について
- ⑤ その他

(7) 協賛会長挨拶 創立120周年記念事業協賛会会長

(8) 閉会のことば

## 議事1

# 北海道函館中部高等学校 創立百二十周年記念事業協賛会会則

- 第 1 条 (名 称) 本会は北海道函館中部高等学校創立百二十周年記念事業協賛会と称し、事務局を同校内におく。
- 第 2 条 (目 的) 本会は平成 2 7 年の北海道函館中部高等学校創立百二十周年記念に当たり、同校教育の一層の振興、充実に寄与することを目的とする。
- 第 3 条 (組 織) 本会は、白楊ヶ丘同窓会々員及び北海道函館中部高等学校父母と教師の会々員（過去に会員であった者を含む）並びに旧職員会々員と本会の趣旨に賛同する有志をもって組織する。
- 第 4 条 (記念行事等) 本会は第 2 条の目的を達成するために記念行事及び記念事業を行う。
- 2 記念行事は次の通りとする。
    - ① 創立百二十周年記念式典
    - ② 創立百二十周年記念祝賀会
  - 3 記念事業は次の通りとする。
    - ① 創立百二十周年記念誌の編纂発行
    - ② 教育施設設備の充実に寄与するための備品の購入
  - 4 その他、上記 2、3 項に付随する事項を行う。
- 第 5 条 (役 員) 本会には次の役員を置く。
- |             |     |             |     |
|-------------|-----|-------------|-----|
| ① 会 長       | 1 名 | ② 副 会 長     | 若干名 |
| ③ 幹 事 長     | 1 名 | ④ 副 幹 事 長   | 若干名 |
| ⑤ 事 務 局 長   | 1 名 | ⑥ 事 務 局 次 長 | 若干名 |
| ⑦ 事 務 局 部 長 | 5 名 | ⑧ 監 査       | 若干名 |
| ⑨ 幹 事       | 若干名 |             |     |
- 第 6 条 (役員を選出) 前条の役員は次により選出される。
- ① 会長は総会において選出される。
  - ② 副会長、幹事長及び幹事は会長が推薦し、総会の承認によって決定される。
  - ③ 事務局長、事務局次長、及び事務局部長は会長が委嘱する。
  - ④ 監査は総会において選出される。
- 第 7 条 (役員の仕事) 第 5 条の役員は次の仕事を遂行する。
- ① 会長は会を代表し会務を統括する。
  - ② 副会長は会長を補佐し、会長不在のときはその仕事を代行する。
  - ③ 幹事長及び幹事は会務運営に関する必要事項を協議する。
  - ④ 事務局長及び事務局次長は本会の事務遂行を統括する。
  - ⑤ 事務局部長は担当部署の事務遂行を統括する。
  - ⑥ 監査は会計事務を監査し、総会に報告する。
- 第 8 条 (役員の仕事) 役員の仕事は本会の事業終了をもって満了とする。途中で退任者のある場合は必要に応じて補充する。
- 第 9 条 (会 議) 本会の事業遂行のため次の会議を設け、会長がこれを招集し、主宰する。
- ① 総 会
  - ② 役 員 会
  - ③ 総務委員会

- 2 前項に規定する会議の議長は、会長若しくは会長が委嘱する者とする。
- 第10条（総 会） 総会は本会の最高決議機関で毎年1回開催する。ただし必要あるときは臨時に開催することができる。その議決は出席者の過半数によって行う。
- 2 総会は役員を選出、会則の改廃、予算・決算、事業計画の審議を行い、決議する。
- 第11条（役 員 会） 役員会は第5条に規定する役員をもって構成する。会長はこれを必要に応じて招集し、補正予算をはじめ、会の運営・業務遂行上の必要事項を審議し決定する。
- 2 役員会は、会長が必要と認める場合、第5条に規定する以外の人員を含めることができる。
- 第12条（事 務 局） 本会は会務運営及び事務遂行のための事務局を北海道函館中部高等学校内に置く。
- 2 事務局は会長の委嘱による委員をもって構成する。
- 3 事務局には次の部を置き、担当事務を遂行する。
- ① 総務部……企画、運営、受賞者・記念品、広報、予算、他
  - ② 庶務部……文書起草、文書收受、記録、受付、接待、他
  - ③ 事業部……式典、祝賀会の企画運営、記念事業、他
  - ④ 編集部……記念誌、記念会報、他
  - ⑤ 会計部……金銭出納、予算執行、決算、他
- 4 前項の各部には部長と主任を置き、部長は第7条第5号の任務を遂行する。
- 5 事務局長、部長及び主任は事務遂行に係る連絡調整のための会合を開くことができる。
- 第13条（議 事 録） 本会は総会及び役員会においてその都度議事録を作成し、会長及び事務局長が押印する。
- 第14条（経 費） 本会の経費は協賛金及び協賛金から生じる果実、その他の収入で賄う。
- 2 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日迄とする。
- 第15条（帳 簿） 本会には次の帳簿を備えるものとする。
- ① 年度の収支決算書及び関係の会計証拠書類
  - ② 協賛者芳名簿
- 第16条（会 則 改 廃） 本会の会則は総会の議決によって改廃することができる。
- 第17条（そ の 他） 本会は第4条の記念行事及び記念事業の達成をもって解散する。
- （附 則） 本会の会則は 平成26年2月14日より施行する。

## 議事 2

## 創立120周年記念事業協賛会役員及び事務局編成

### 1 役員

役職	人数	氏名	同窓会・PTA役職・教職員
会長	1名	石井直樹	同窓会会長 63期
副会長	若干名	五十嵐稔	同窓会副会長（楊燈会会長） 80期
		鎌田佳勝	同窓会副会長 65期
		佐々木園子	〃 66期
		佐藤眞紀夫	〃 69期
		益井基濱	全日制PTA会長 定時制PTA会長
幹事長	1名	菊池有入	同窓会幹事長 69期
副幹事長	若干名	野口壽子	同窓会副幹事長 66期
		福西秀和	〃 72期
		室田晴康	〃 75期
幹事	若干名	荒川伸夫	同窓会札幌支部長 68期
		橋上靖彦	同窓会宮城支部長 61期
		安田康次	同窓会東京支部長 67期
		佐藤裕三	同窓会関西支部長 63期
事務局長	1名	菊池有入	同窓会幹事長 69期
事務局次長	若干名	天田光彦	全日制教頭
		谷川敬一	定時制教頭
		久米田雅	事務長
事務局部長	5名	菊池有入	同窓会総務部長 69期
		室田晴康	同窓会庶務部長 75期
		坂昭夫	同窓会事業部長 75期
		原一彰	同窓会編集部長 90期
		千葉考仁	同窓会会計部長 76期
監査	若干名	奥山昌弘	同窓会会計監査 75期
		岸本眞彦	全日制PTA監査
		沖田恵理子	定時制PTA監査

### 2 事務局

部	業務内容	全日制	〇主任	定時制	〇主任
総務	事業の企画・運営、連絡・調整、広報、予算・決算、受賞者、記念品、宿舍手配	〇	総務部 6名	〇	1名
庶務	文章起草・収発、映像・写真記録、賞状作成	〇	教務部 6名 学年主任 3名	〇	1名
事業	式典、祝賀会企画・運営、葉作成、参加者名簿作成、受付・接待記念品、記念事業企画	〇	生徒指導 6名 進路指導 10名	〇	2名
編集	記念誌刊行・記念会報	〇	生徒会 6名 図書情報 5名	〇	2名
会計	金銭出納、物品購入、予算執行、決算	〇	事務部 3名 保健 4名	〇	1名

- 1 校内分掌を基本とするが、適材適所も考慮して事務局員を決定する。
- 2 各年度の人事異動、役員改選等によって、入れ替えがある。
- 3 総務委員会は役員・事務局主任等とする。

## 議事 3

## 事業計画

### 1 事業計画内容：

- (1) 記念式典
  - ①日時 平成27年10月17日(土) 11:00~12:00
  - ②場所 函館中部高等学校体育館
  - ③内容 感謝状・記念品の贈呈等
  - ④主担当 学校中心に計画・実施
  
- (2) 記念祝賀会
  - ①日時 平成27年10月17日(土) 13:00~15:00
  - ②場所 五島軒 会費制
  - ③内容
  - ④主担当 同窓会を中心に計画・実施
  
- (3) 記念誌発行 記念式典終了後に発行 購入希望者について(在校生)  
内容は編集部が立案
  
- (4) 記念事業  
上記の他に多額の金銭を必要とする事業は計画しないが、教育環境整備等を考慮する。

### 2 今後の日程について

#### 平成26年度

- 7月 第1回総務委員会  
内容：協賛金・記念誌・記念事業・事務局体制
- 8月 第2回総務委員会  
内容：趣意書完成(業者)・購入希望品・記念式典・祝賀会
- 10月 第3回総務委員会  
内容：特別寄付・記念事業
- 11月 協賛金振込のお願い(～平成27年5月迄 業者)
- 2月 第4回総務委員会  
内容：協賛金納入状況・協賛事業・記念誌

#### 平成27年度

- 5月 第5回総務委員会  
内容：協賛金・訂正予算・協賛事業
- 6月 第6回総務委員会  
内容：各部活動報告、今後の活動計画確認、予算
- 7月 第7回総務委員会  
内容：広報・式典・祝賀会次第・参列者確認・受賞者確認
- 8月 第8回総務委員会  
内容：式典祝賀会開催要項・協賛事業・広報・各部予定・放送ビデオ作成・輸送計画
- 9月 第9回総務委員会(最終確認)  
内容：式典祝賀会最終確認・当日細案・各部予定表確認・来賓確認

#### 10月17日(土) 記念式典・祝賀会

- 12月 第10回総務委員会  
内容：創立130周年に向けて課題、評価・記念誌
- 3月 記念誌発行

## 議事 4 予算（協賛金）について

90周年 約 4000万    100周年 約8000万    110周年 約 2700万

120周年 2000万 (目標)  
協賛金一口5千円

科 目	110周年 決算報告		120周年
	収入額		
収入の部			
協賛金	11,444,220	個人 (1,388名) みちのく銀行	
特別協賛金	7,000,000	白陽丘同窓会より	
積立金	2,863,914	100周年記念事業協賛会より	
祝賀会費	2,635,000	5,000円×527名	
負担金	2,700,000	3,000円×(全定900名)	
その他	180,086	利息.86名 祝儀 (12名 180,000円)	
合計	26,823,220		
支出の部	支出額		
会議費	84,230	総会・各部会お茶代	
通信費	1,438,036	趣意書 (1,242,836) 総会案内他	
印刷費	442,339	趣意書 (797,744)・封筒・会券等	
旅費	190,570	表彰者出席旅費	
事務費	1,579,382	入金処理会計ソフト (436,252) 新聞広告 (577,500) 消耗品他	
市民会館使用料	247,300	ホール全館1日半 ピアノ等備品	
体育館使用料	0		
顕彰費	442,339	表彰者 (44名) 記念品	
記念品費	800,840	イカスカード1,600枚	
祝賀会経費	3,690,768	五島軒 (558名 2,299,518) 記念VTR作成費・バス借上	
会場設営委託費	173,250	記念式典テジ横一文字他	
会場装飾費	43,540		
記念講演者費	500,000	講演者旅費等	
学校行事補助費	1,780,000	記念式典ス	
教育環境整備費	6,933,431	演劇鑑賞料金等	
編集費	106,147	座談会テーブルおこし他記念誌編集費用	
記念誌費	4,314,845	記念誌 (1,598×2,700冊)	
発送費	351,775	協賛者 1,374通 関係機関 130通	
葉・名簿作成費	381,360	式典プログラム	
予備費	0		
次期記念事業準備金	2,500,000	同窓会へ繰入	
同窓会繰り戻し金	340,568	同窓会へ繰入	
合計	26,823,220		